

## PWC業務担当理事会議157報告

(日時) 平成26年11月28日(金) 11:00~12:15

(場所) 産業支援室応接室

(出席者) 川瀬理事長、吉田理事、小松川理事  
磯崎事務局長、島津事務局次長

### 1 報告事項

#### ① 会員の入退会等について

##### ・入会

賛助会員 日本中央研究所(株)様

※これにより11月28日現在の会員数は、法人19、個人39、賛助18の76となる。

#### ② 第2回光テクノロジー応用懇談会の開催について

日時: 平成26年10月31日(金) 13:30~17:30

場所: 北海道立総合研究プラザ 1階 セミナー室

タイトル: 「食・農・医に役立つナノテク!」

～観る/創る/測る 全国のナノテク先端機器と人材があなたの手に!～

主催: ナノテクノロジープラットフォームセンター (JST)

北大・ナノテク連携推進室、千歳科学技術大学、NPJ 分子合成プラットフォーム、PWC

内容:

《食・農テーマセッション》

基調講演 「食の産地・安全・安心と健康を守るイメージング技術・ナノテク技術が経済成長とQOL (quality of life) を向上させる」

千歳科学技術大学 教授 木村 廣美氏

- ・赤外イメージングと元素イメージングは、食の安全と安心、おいしさの測定などに用いることができる上、機器の操作法が簡便であり、迅速性も高く、特別な技術を要さないことから、一般企業の方でも気軽に利用できる。
- ・食品の安全性や品質への関心は、どんどん高くなっている。消費者が望む室の高い製品作りに、利用していただきたい。

《医・薬テーマセッション》

- ・北海道大学電子科学研究所ナノテク連携推進室 松尾准教授による機関紹介の後、北大の機器を利用した事例紹介が、株式会社機能性植物研究所 樋口社長ならびに、北大大学院歯学研究科 赤坂准教授から行われた。

### 3 交流会

- ・科技大からは、カートハウス教授、木村教授、河野教授、櫻井技術員が出席、PWCからは磯崎事務局長、島津事務局次長、中村書記が出席し、セミナーに参加した企業の方々や、道外のナノテクコーディネーター、道総研の方々と意見交換を行った。

※ナノテク事業は、機器の利用だけでなく、技術相談や研究方法の助言などを幅広く受け付け、企業にとって有用な方法とともに考える制度であることから、PWCにおいても、引き続き会員企業や市内企業に活用いただけるようPRに努める。

③ 北洋銀行ドリーム基金の周知について

10月31日（金）が申請期限だった「北洋銀行ドリーム基金」に、個人会員1件、賛助会員1件の計2件が申請を行った。

申請の結果については平成27年3月に発表の予定。

④ ビジネス EXP02014（北海道技術・ビジネス交流会）への出展支援について

日 時：平成26年11月6日（木）～7日（金）

場 所：アクセスサッポロ

主 催：北海道 技術・ビジネス交流会実行委員会

出展者：企業、大学、研究機関等 356社・機関

来場者：20,028人（昨年度 19,020人）

ブース名称：千歳科学技術大学

展示内容：

- ・千歳科学技術大学の紹介
- ・ホトニクスバレープロジェクトの紹介
- ・ホトニクスワールドコンソーシアムの紹介
- ・ナノテクノロジープラットフォーム事業の紹介
- ・千歳市工業団地の紹介
- ・泉沢向陽台住宅地の紹介

ブース来場者数：約120人（昨年度 約100人）

主な問い合わせ

- ・ナノテク事業とはどういったものか。
- ・動物のえさの成分を分析することは可能か。
- ・支援を受けるために必要な経費はいくらか。また、手続きはどのように行うのか。
- ・機器の利用に当たって、大学の研究者等が取り扱い方法の説明や同席するなどのフォローをしていただけるか。

出展の結果

- ・科技大では、ナノテクノロジープラットフォーム事業を通じて、企業への技術指導や共同研究・研究開発も積極的に行っている大学であることをPRできた。

《その他の出展会員企業》

◎フォトニックサイエンステクノロジー㈱・・中小企業基盤整備機構ブース

【内容】光ファイバ、マトリクス型コリメータのPR

【ブース来場者数】約100人

※道内では、特殊ファイバの需要が少ないことから、ビジネスに繋がる具体的な話は多くなかったが、新型カメラ画像の研究者から、技術活用について具体的な相談が持ちかけられるなど、今後につながる可能性があるものもあった。

◎㈱エルス・・道央産業振興財団ブース

【内容】「三次元画像計測を用いた呼吸代謝計測システム」とデモ機の紹介

【ブース来場者数】約150人

※来場者からは、早期製品化の希望が多く、事業化への期待の大きさを実感した。

⑤ 青少年のための科学の祭典千歳大会への後援及び協賛について

日 時：平成26年11月9日（日） 10：00～15：00

場 所：北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

主 催：青少年のための科学の祭典千歳大会実行委員会

（公財）日本科学技術振興財団・科学技術館

後援：文部科学省、経済産業省、NHK、千歳市、千歳市教委ほか

内容：自然科学分野に関わる工作・実験・観察等の体験

自然科学分野から人文・社会科学分野も含む幅広い分野に関する展示  
来場者数：約2,100人

※PWCは、本事業を協賛するとともに、会場準備、片付けなど支援した。

⑥ 戦略的基盤技術高度化支援事業（新世代高速通信向け波長選択スイッチ用マトリクス型コリメータ実装技術の研究開発）中間検査について

日時 11月27日（木）10：00～

場所 千歳アルカディア・プラザ 3階研修室

※PWCが受託している本事業について、北海道経済産業局の中間検査を受検した。

検査結果や修正事項等については、後日北海道経済産業局から送付される「検査メモ」に基づき対応する。

⑦ 戦略的基盤技術高度化支援事業（新世代高速通信向け波長選択スイッチ用マトリクス型コリメータ実装技術の研究開発）第1回研究開発委員会について

日時 11月27日（木）15：00～

場所 千歳アルカディア・プラザ1F 多目的ホール

アドバイザー

堀 文明 氏 NTTエレクトロニクス株式会社フォトリソコンポーネント事業本部製造センター・副センター長

八 卷 重 則 氏 元北日本電線株式会社光デバイス事業部長

※北海道経済産業局ほか研究開発委員が出席し、研究開発委員会を実施した。

⑧ 千歳科学技術大学2014年度第5回市民公開講座の開催

日時：12月20日（土）14：30～16：30

場所：北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）4階 大会議室

内容：科学のまち千歳を目指して～市民協働を通じた科学によるまちの活性化～

講師：グローバルシステム学科 教授 長谷川 誠 氏

※PWCに対し後援依頼があり、後援を承認した。

⑨ 第4回ICT利活用広域連携推進連絡会議の開催

日時：12月26日（金）午後（予定）

場所：千歳科学技術大学（予定）

参加者：遠別町、夕張市教委、栗山町教委 ほか

※当日の協議内容等詳細については現在調整中。

## 2 審議事項

① 第3回光テクノロジー応用懇談会の開催について

日時：平成27年2月6日（金）15時30分～17時00分（予定）

場所：千歳アルカディアプラザ

内容：（1）講演1 千歳工業クラブ会員企業（調整依頼中）

（2）講演2 科技大からの講演

バイオミメティクス研究について（仮題） 下村教授

（3）ナノテクノロジープラットフォーム事業の紹介

※懇談会終了後、交流会（1時間程度）を開催する。

※PWCコーディネーター、千歳工業クラブ、JST、道総研等関係者と連携し準備を進める。

《PWC会員の皆様へ》

第3回光テクノロジー応用懇談会は、千歳工業クラブ様のご協力のもと、千歳工業クラブ会員企業様からのご講演のほか、バイオメティクス研究クラスターの内容などについて、千歳科学技術大学の下村教授からご講演いただく予定です。

詳細が決定し次第、改めてご案内させていただきますので、よろしくお願ひします。

### 3 その他

#### ① PWCホームページにおける会員PRページの運用開始について

PWC会員相互のネットワーク作りを推進するため、会員がPWCのホームページ上において、商品の案内やイベント告知等の情報を発信できる「会員PRページ」運用にあたり、PWC会員に対して「ID」及び「パスワード」を発行、操作手順書を送付する。

《PWC会員の皆様へ》

「ID」及び「パスワード」、操作手順書については、現在発送準備中です。

会員の皆様におかれましては、商品の案内やイベントの告知、その他会員の皆様の情報交換の場として、ぜひご活用ください。

また、使用方法などについて、ご不明の点がございましたら、以下にお問い合わせください。

※問い合わせ先

(株) ツヨシオカ (PWC法人会員)

電話：0123 (25) 5010 メール：creative@tsuyoshioka.jp

#### ② 次回開催について

日 時：12月12日(金) 11:00～

場 所：産業支援室応接室